

掲載内容

1) Ver7.1.3 Updater について

アップデート情報

- ・Photometrics Cascadell:1024b(CCD カメラ)サポート
- ・Chamlide(インキュベータシステム) サポート
- ・Olympus Keypad Function

2) Live Cell Imaging Solution 6D+ パンフレット紹介

新しいカタログの紹介

3) PiezoZ Stage 500 μ m タイプ (PiFOC) がリリース

稼働範囲500ミクロンのピエゾ Z ステージの紹介

4) Meta Imaging Series Version7.1 以降の Win2000sp4 へのインストールについて

インストール時のトラブルシューティング

5) ORCA-AG : Show Live 時の不具合について

CCD カメラの不具合情報

6) Chamlide インキュベータシステム コントロール : MetaMorph

MetaMorph での応用例

[温度設定] / [実験中に温度グラフも合わせてプロットする一例]

1) ((重要)) Ver7.1.3 Updater が WEB に Upload されました

Meta Imaging Series7.1 の最新アップデートファイルが WEB にアップロードされました。
新たなサポートや、機能の強化が図られております。

・Photometrics CascadeII:1024b(CCD カメラ)を新たにサポートしました。

背面照射型EMCCD(>90%peakQE)
素子数 : 1024x1024
素子サイズ : 13 μm x 13 μm
転送速度 : 10MHz, 5MHz, 1MHz
冷却温度 : -60°C
定価 : 8,400,000円(税抜き)

<主なアプリケーション>

一分子蛍光、細胞内観察、微弱光
TIRF、Widefield Confocal顕微鏡等



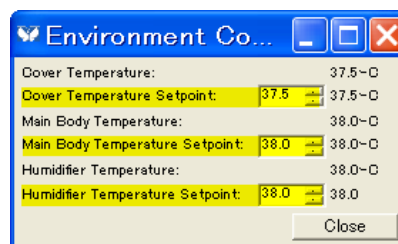
・Chamlide(インキュベータシステム) を新たにサポートしました。

MetaMorph から温度コントロール、モニタリングが可能です。

#40171 LCI Chamlide 制御オプション 定価 100,000-

※MetaMorph Premier でもオプションです

※MetaVue/MetaFluor には対応していません。

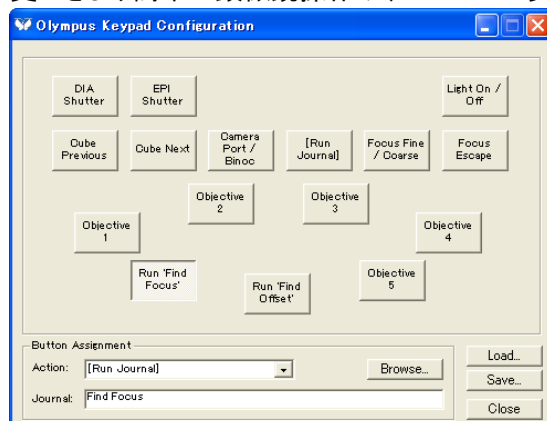


使用例についての詳細を P4 より記載しております。

・Olympus Keypad Function の追加

ハンドスイッチ U-HSTR2 に各コンポーネントの動作、Journal を割り当てられます。

この割り当ての設定は、Save と Load することが可能で場面に応じて割り当てを簡単に変更できより簡単に顕微鏡操作や、Journal の実行が可能です。



使用例 :

- IX81 以外のデバイスをハンドスイッチから制御
- ・MetaMorph で設定したイルミネーション設定をハンドスイッチに割り当てる。
- FindOffset/FindFocus(ZDC)をハンドスイッチから動作する。
etc...

その他の詳細については v7.1.3Update の Web ページでご確認いただけます。

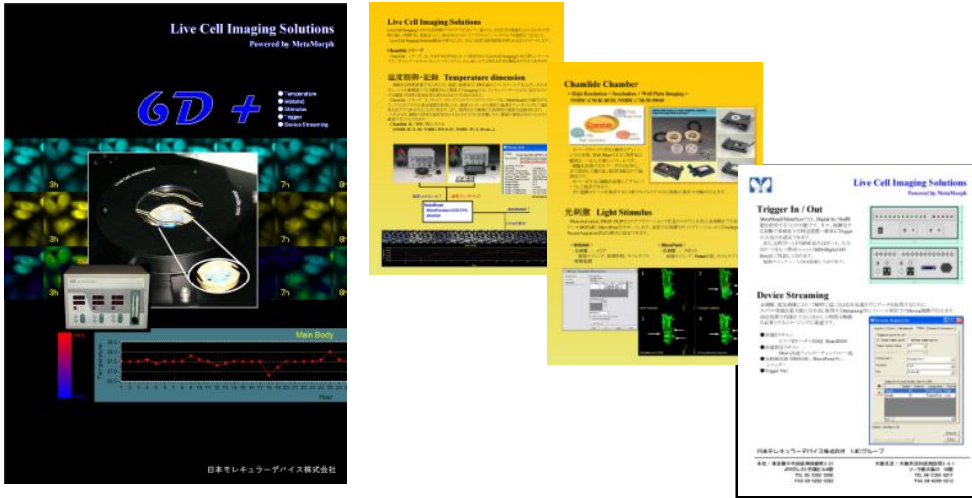
アップデートについては、下記 Web ページよりアップデート方法を確認することも可能です。

<アップデート方法>

<http://support.meta.moleculardevices.com/install/index.php>

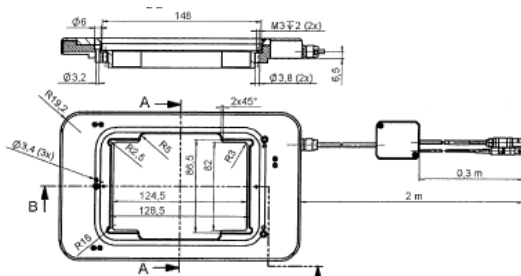
2) **Live Cell Imaging Solution 6D+ パンフレットを作成しました**

Live Cell Imaging をサポートするMetaMorphの最新機能や、周辺装置を紹介した内容です。これまでの6次元イメージングにプラスして新たな紹介をしています。



3) **((新製品)) PiezoZ Stage 500 μ mタイプ(PI)がリリースされました**

- ・Well Plateサイズまでのステージエリアで**500 μ m 高速、高精度のPiezo制御**が行えます
- ・ステージ可動タイプで、対物レンズ毎にピエゾを用意する必要もありません。
- ・対物レンズタイプのように対物レンズとレボルバの間隔が変わらずDICへの影響もありません。
- ・価格3,800,000円で、複数の対物レンズで使用する場合には、コストを大幅に削減できます。



詳細につきましては、営業担当までご連絡ください。

- ・Ludl 社電動ステージに対応
- ・Ludl 社以外のステージの場合には、別途アダプタが必要 IX, BX 各 100,000 円
- ・MetaMorph で制御する場合には、ドライバ、DAQ ボード等が必要です。

4) **Meta Imaging Series Version7.1以降のWin2000sp4へのインストールについて**

Windows2000 へ Meta Imaging Series7.1 をインストール又は、アップグレードを行う場合には、Windows2000 のアップデートを十分に行わないとインストール(又は、アップグレード)が正常に行われない場合があります。

インストール作業を行う場合には、まず下記のことをご確認ください。

確認事項	アップデート方法
Windows2000 が十分にアップデートされているか？	Microsoft の WebSite にてアップデートを実行してください。
Sentinel Driver を V7.3.0 にグレードアップできているか？	MetaimagingSeries7.1 のインストール CD に含まれています。

5) **ORCA-AG : Show Live 時の不具合について**

特定の期間に製造されたORCA-AGにおいてBinningの値を2以上にするとLive画像が乱れるという現象が表れます。

これらの現象は、Meta Imaging Seriesでの問題ではなく、ORCA-AGのファームウェアに起因する現象です。浜松ホトニクス社で既に新しいファームウェアを準備しておりますので、対象となる場合は、弊社又は、浜松ホトニクスへお問い合わせください。

対象の Firm Version は、Ver.2.00.11.M(2006/12~)

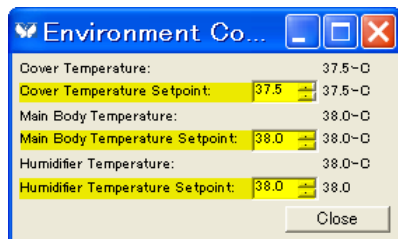
Chamlide インキュベータシステム コントロール : MetaMorph

40171 LCI Chamlide Environment Control Optionの使用法について

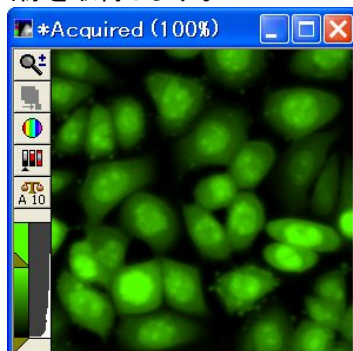
Live Cell Instrument社製 Chamlideインキュベータシステムを使用することで、画像取得時のカバー・メインボディー・加湿器の温度読み出しが自動的に行えるばかりか、実験中に設定温度を変更することが可能となります。※ 温度変更にはJournalを組み込む必要があります。

[温度設定]

1. MetaMorphを起動します。
2. Devicesメニュー Environment Controlを選択します。
3. Environment Controlダイアログボックスが表示されたら、Cover Temperature Setpoint、Main Body Temperature Setpoint、Humidifier Temperature Setpointを指定します。

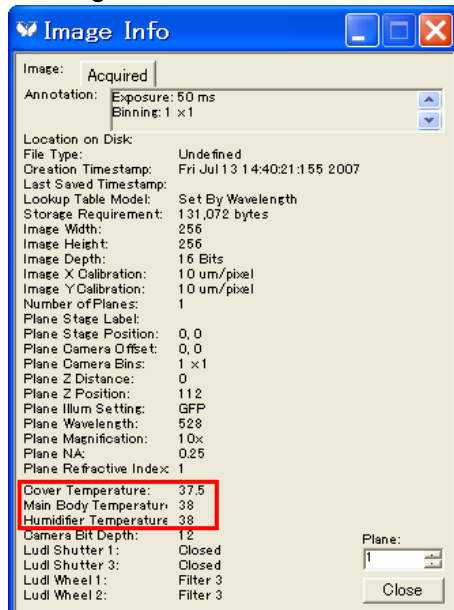


4. 画像を取得します。



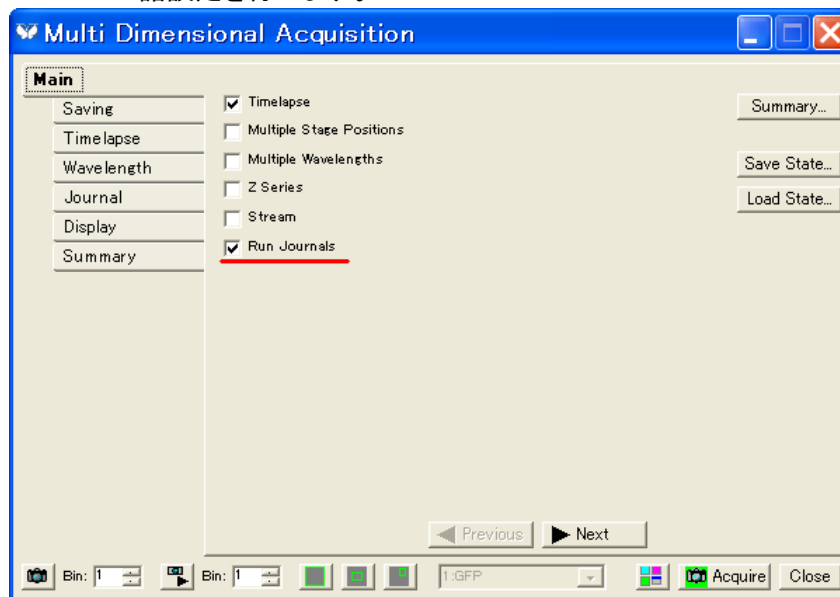
画像取得と同時に、取得時の温度情報が自動記録されます。

※ Image Infoを用いて画像情報の確認が可能です

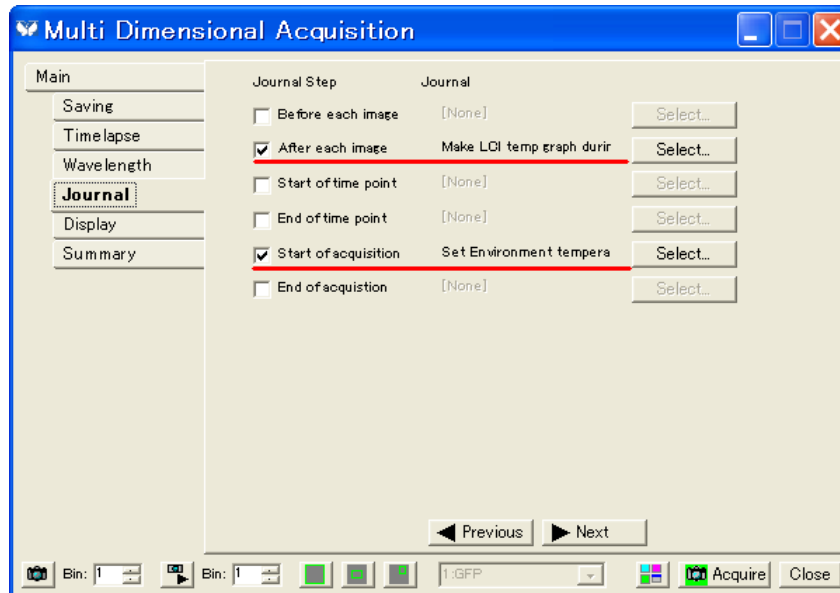


[実験中に温度グラフも合わせてプロットする一例]

1. MDAの諸設定を行います。



2. 作成済ジャーナルを指定します。



3. MDAをスタートさせると指定したJournalを用いてグラフがプロットされます。



注意: 上のGraph1の表示は、分かりやすいように強調したものです。